

# 茨城県感染症流行情報

2008年第35週  
(8月25日～8月31日)

- ・ この情報は、速報性を重視してありますので、今後、数値に若干の変更が生じる場合があります。
- ・ 全国の感染症発生動向情報につきましては、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)をご覧ください。
- ・ 今週は、日本脳炎患者の発生について、情報提供資料を掲載しています。

平成20(2008)年9月5日発行

<編集・発行>

茨城県保健福祉部保健予防課  
健康危機管理対策室

電話:029-301-3219

FAX:029-301-6341

E-mail:yobo@pref.ibaraki.lg.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年第35週

分類	対象疾患	茨城県(診断日)						全国(診断日)		
		31週	32週	33週	34週	35週	年累計	35週	年累計	
1類	エボラ出血熱									
	クリミア・コンゴ出血熱									
	痘そう									
	南米出血熱									
	ペスト									
	マールブルグ病									
	ラッサ熱									
2類	急性灰白髄炎								1	
	結核	7	13	13	3	4	378	334	17954	
	ジフテリア									
	重症急性呼吸器症候群									
	鳥インフルエンザ(H5N1)									
3類	コレラ							3	37	
	細菌性赤痢		1				7	14	216	
	腸管出血性大腸菌感染症		2	4	2	4	22	251	2809	
	腸チフス								31	
	パラチフス								22	
4類	E型肝炎								32	
	ウエストナイル熱									
	A型肝炎						2	1	126	
	エキノコックス症								8	
	黄熱									
	オウム病								5	
	オムスク出血熱									
	回帰熱									
	キャサナル森林病									
	Q熱								2	
	狂犬病									
	コクシジオイデス症								2	
	サル痘									
	腎症候性出血熱									
	西部ウマ脳炎									
	ダニ媒介脳炎									
	炭疽									
	つつが虫病								121	
	デング熱								51	
	東部ウマ脳炎									
	鳥インフルエンザ(H5N1除く)									
	ニパウイルス感染症									
	日本紅斑熱								4	44
	日本脳炎						1	1	1	1
	ハンタウイルス肺症候群									
	Bウイルス病									
	鼻疽									
	ブルセラ症								1	4
	ベネズエラウマ脳炎									
	ヘンドラウイルス感染症									
	発しんチフス									
	ポツリヌス症								1	1
マラリア								4	31	
野兎病									4	
ライム病							1		3	
リッサウイルス感染症										
リフトバレー熱										
類鼻疽										
レジオネラ症		1			1	1	14	13	578	
レプトスピラ症									5	
ロッキー山紅斑熱										

全数把握対象疾患 報告数 2008年第35週

分類	対象疾患	茨城県(診断日)					全国(診断日)			
		31週	32週	33週	34週	35週	年累計	35週	年累計	
5類 (全数)	アメーバ赤痢				1	1	8	14	578	
	ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)						2	1	156	
	急性脳炎						7	3	133	
	クリプトスポリジウム症								6	
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1			1	1	104	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						1	1	82	
	後天性免疫不全症候群						14	12	996	
	ジアルジア症								54	
	髄膜炎菌性髄膜炎								10	
	先天性風しん症候群								1	
	梅毒						6	7	538	
	破傷風						3	2	79	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症									
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症								1	56
	風しん						5	3	271	
麻しん	2		2			1	93	21	10711	

〈35週の保健所別報告数〉

	疾患名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	日本脳炎	レジオネラ症	アメーバ赤痢	麻しん
保健所名	水戸		1				
	ひたちなか	2			1		
	常陸大宮						
	日立		1				
	鉾田					1	
	潮来						
	龍ヶ崎						
	土浦	2	1				1
	つくば			1			
	筑西		1				
	常総						
古河							
合計	4	4	1	1	1	1	

〈全数把握対象疾患のコメント〉

<p>〈二類感染症〉  結核4件: 肺結核2件(30歳代男性1件,40歳代男性1件)  無症状病原体保有者1件(10歳代男性)  その他の結核(結核性関節症)1件(80歳代男性)</p> <p>〈三類感染症〉  腸管出血性大腸菌感染症4件: 患者4件(10歳未満男児 O111:VT1VT2+)  (20歳代男性 O145:VT1+)  (50歳代女性2件 O157:VT1VT2+)</p> <p>〈四類感染症〉  レジオネラ症1件: 患者(80歳代男性、肺炎型)</p> <p>〈五類感染症〉  アメーバ赤痢1件: 患者(20才代男性、腸管外アメーバ症)  麻しん1件: 10歳代男児(修飾麻しん)</p>
---

週報告 定点把握対象疾患 報告数 2008年第35週

定点種別	対象疾患	茨城県						全国	
		31週	32週	33週	34週	35週		35週	
		報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	インフルエンザ	0	0	1	2	3	0.03	36	0.01
小児科	RSウイルス感染症	0	0	1	0	3	0.04	553	0.18
	咽頭結膜熱	57	43	38	28	28	0.37	1606	0.53
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	96	88	69	76	60	0.80	2284	0.76
	感染性胃腸炎	123	128	80	123	126	1.68	8495	2.82
	水痘	50	44	23	24	23	0.31	1381	0.46
	手足口病	62	56	50	44	68	0.91	4601	1.53
	伝染性紅斑	9	9	7	8	6	0.08	266	0.09
	突発性発しん	38	42	27	50	42	0.56	2601	0.86
	百日咳	4	3	2	1	3	0.04	141	0.05
	ヘルパンギーナ	235	211	102	88	58	0.77	3172	1.05
	流行性耳下腺炎	6	5	13	5	8	0.11	1247	0.41
眼科	急性出血性結膜炎	1	0	0	1	0	0.00	24	0.04
	流行性角結膜炎	43	43	19	51	36	2.12	596	0.88
基幹	細菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0.00	7	0.02
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.00	21	0.05
	マイコプラズマ肺炎	6	2	2	1	2	0.15	162	0.35
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0.00	10	0.02

県内の定点医療機関数

定点種別	インフルエンザ	120
	小児科	75
	眼科	17
	性感染症(月報告)	22
	基幹	13

〈定点把握対象疾患のコメント〉

<p>〈手足口病〉                      定点当たり報告数は、28週をピークに減少傾向を示していたが、今週は全国、茨城ともに増加している。</p> <p>〈流行性角結膜炎〉                      定点当たり報告数は、1年を通して1.0～3.0の間を推移しているが、昨年に比べて高い傾向が続いている。</p>
---

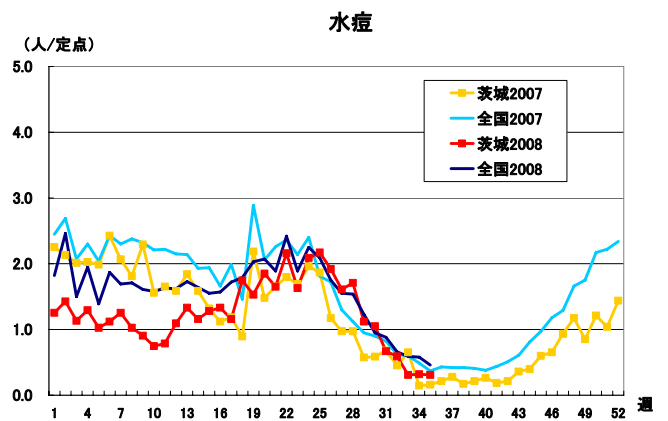
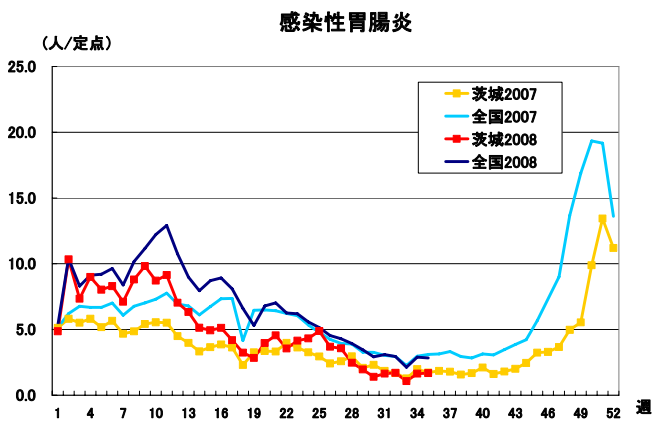
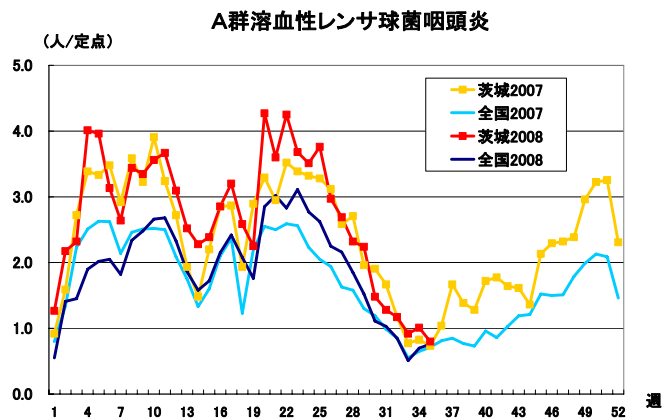
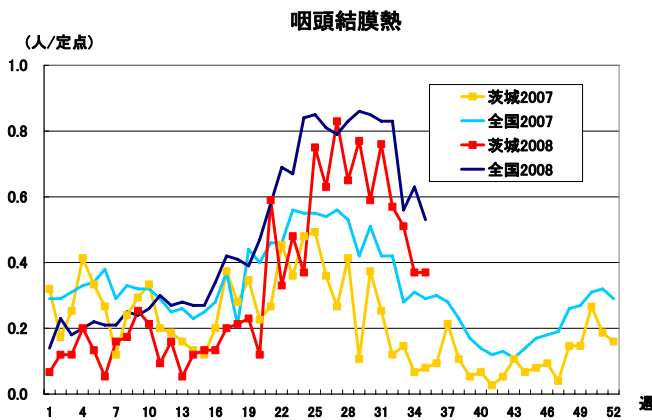
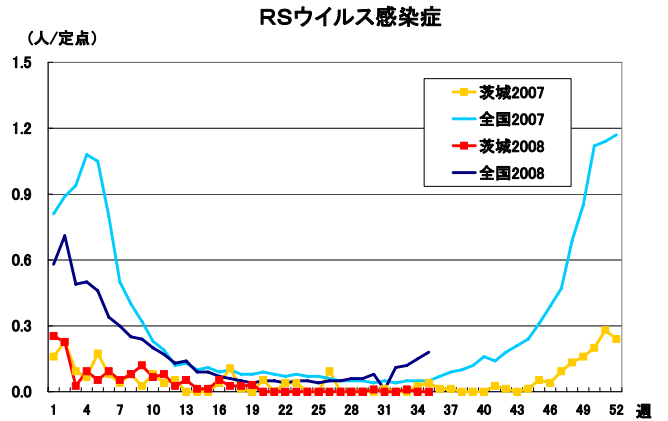
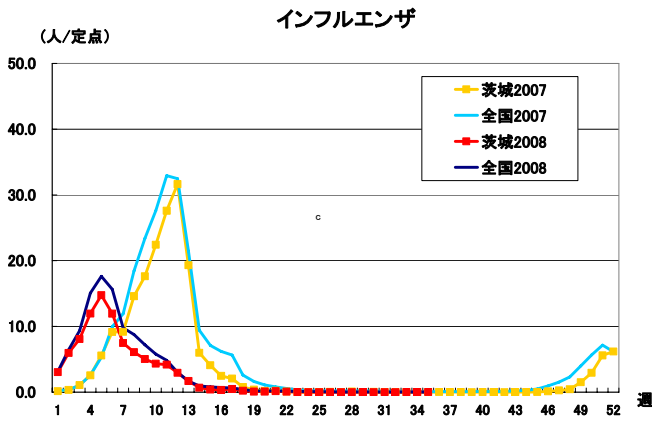
定点把握対象疾患報告数【保健所別】 2008年第35週

疾 病/保健所	水戸	ひたち なか	常陸 大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	計
インフルエンザ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
RSウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	1	0	9	8	0	3	1	0	0	2	3	1	28
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	2	8	4	18	0	3	2	1	12	2	2	6	60
感染性胃腸炎	7	6	15	4	0	4	50	12	15	2	11	0	126
水痘	9	0	0	3	2	2	4	1	1	0	0	1	23
手足口病	11	4	12	20	0	5	6	3	1	0	1	5	68
伝染性紅斑	0	1	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	6
突発性発疹	5	3	2	5	0	4	2	1	7	1	8	4	42
百日咳	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
ヘルパンギーナ	6	7	6	3	0	10	9	4	5	0	6	2	58
流行性耳下腺炎	0	2	2	1	0	0	2	0	0	0	0	1	8
急性出血性結膜 炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	4	9	9	0	0	0	6	1	1	0	5	1	36
細菌性髄膜炎(真 菌性を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺 炎	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
クラミジア肺炎(オ ウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

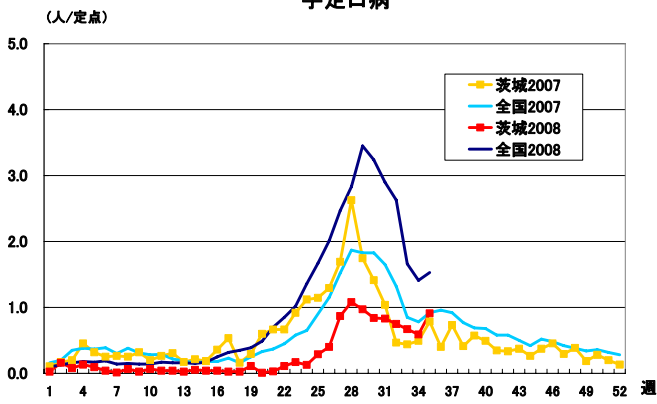
保健所管内別定点医療機関数

保健所名	定点種別				
	インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹
水戸	17	11	3	4	2
ひたちなか	8	5	1	1	1
常陸大宮	8	5	1	1	0
日立	11	7	2	2	2
鉾田	5	3	0	1	1
潮来	8	5	1	3	1
龍ヶ崎	14	9	3	3	2
土浦	13	8	2	2	1
つくば	10	6	1	1	1
筑西	10	6	1	1	1
常総	8	5	1	2	0
古河	8	5	1	1	1
計	120	75	17	22	13

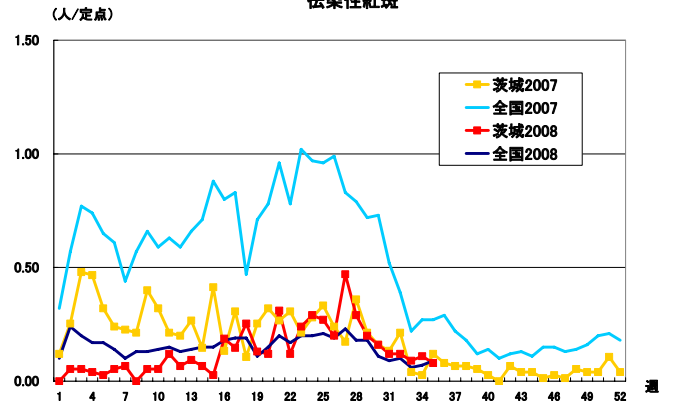
## 定点把握対象疾患報告数【週別発生状況】 35週



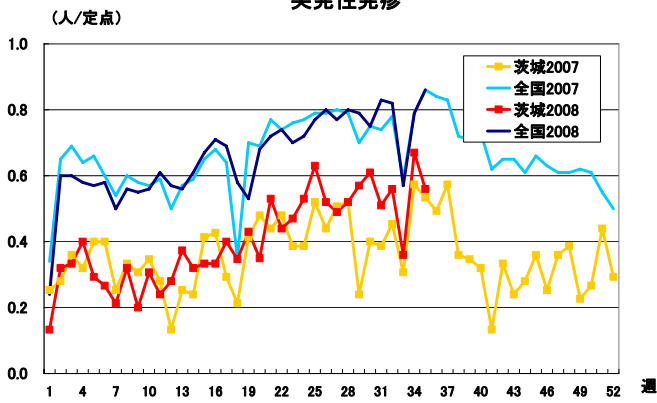
手足口病



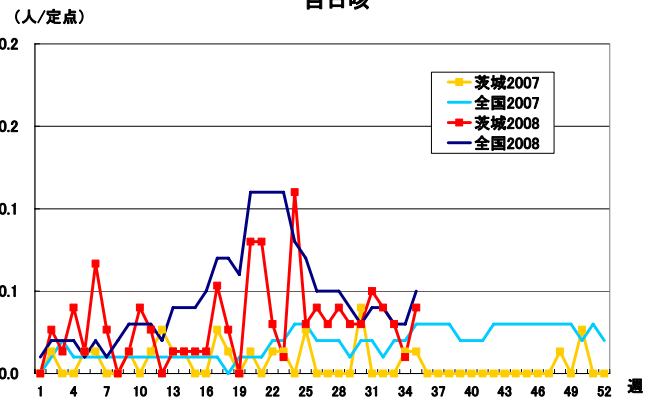
伝染性紅斑



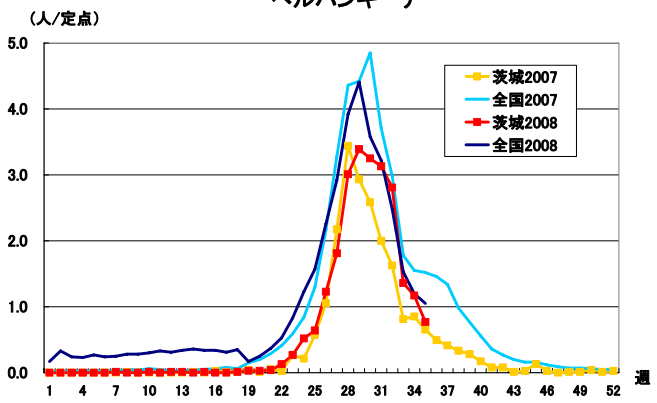
突発性発疹



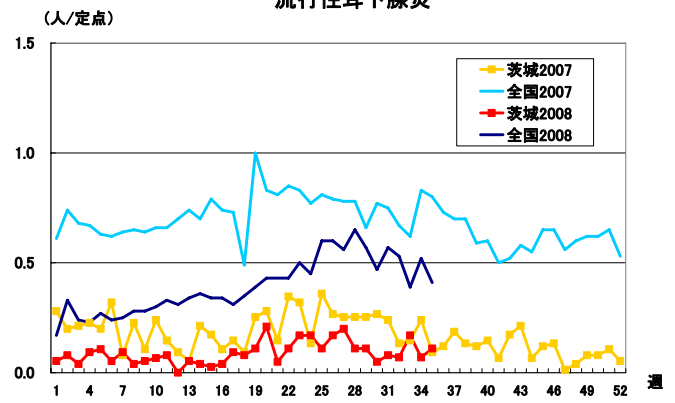
百日咳



ヘルパンギーナ

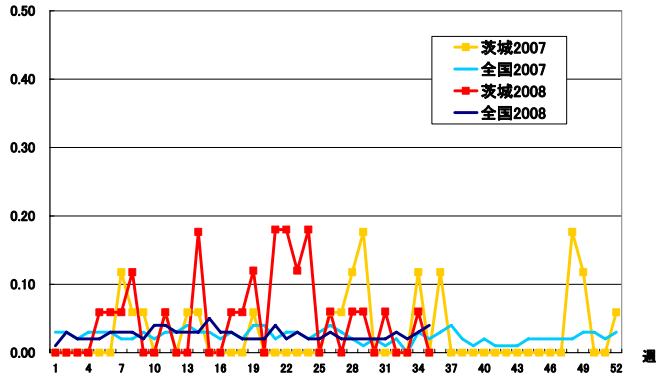


流行性耳下腺炎



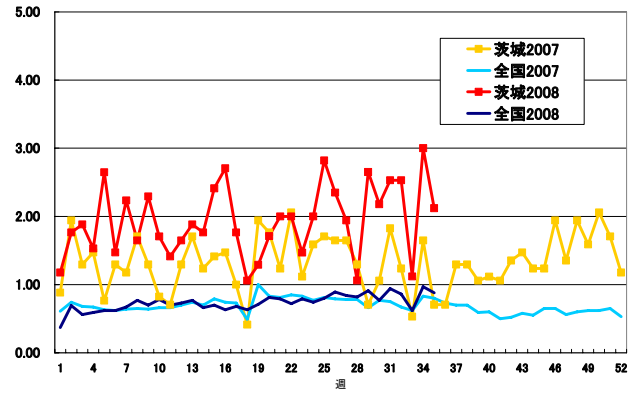
(人/定点)

急性出血性結膜炎



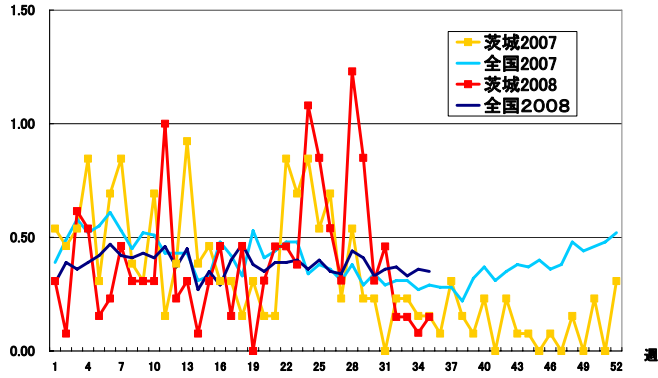
(人/定点)

流行性角結膜炎



(人/定点)

マイコプラズマ肺炎





平成20年8月27日 午後4時  
照会先：保健予防課健康危機管理対策室  
担当：室長補佐 菊池 巧  
連絡先：301-3219（内線：3217）  
          (090-4941-9035)

## 日本脳炎患者の発生について

本日（8月27日）、県内の医療機関に入院していた男性（60歳代）が検査の結果、日本脳炎と診断され、発生届出（4類感染症）がありましたので、お知らせします。男性は、現在、入院治療中ですが、疫学調査の結果、患者は茨城県内で感染したものと思われま。

日本脳炎の患者発生は、今年初であり、県内での患者発生は1990年（平成2年）以来です。

### 【患者概要】

- ・ 常総保健所管内在住 60歳代 男性 農業従事者
- ・ 5月下旬に発症し、医療機関で入院治療を続けていたが、8月26日に日本脳炎と診断された。

### 【年別日本脳炎患者発生件数】

H20年は8月27日現在

年	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	1
全国	7	5	8	1	5	7	7	10	1

### 【予防対策】

蚊に刺されないように工夫しましょう。

- ・ 長袖，長ズボンの着用
- ・ 蚊の駆除
- ・ 水たまりの除去
- ・ 防虫スプレーや防虫薬のこまめな使用

### 【日本脳炎とは】

- ・ 日本脳炎ウイルスの感染によっておこる中枢神経（脳や脊髄等）の疾患です
- ・ ウイルスを持つ蚊に刺された後も症状なく経過する 경우가ほとんどです。症状が出る場合は、感染後1～2週間の潜伏期を経て、急激な発熱と頭痛等を発症し、引き続き、光への過敏症、意識障害、神経系障害（脳の障害）を生じます。
- ・ 致死率は約25%、患者の50%は後遺症を残すといわれています。

### 【感染経路】

- ・ ヒトからヒトへの感染はなく、ブタなどの動物の体内でウイルスが増殖された後、そのブタを刺したコガタアカイエカなどがヒトを刺すことによって感染します。

### 【コガタアカイエカについて】

- ・ コガタアカイエカは水田沼地で発生し、活動範囲（飛行距離）は、8km程度移動したとの報告もありますが、概ね2km前後とされています。
- ・ コガタアカイエカの活動は日没後になります。

お子さんが、  
蚊に刺されないうちから  
注意しましょう。

夕方から夜にかけて、蚊の活動が活発になります。



夏です。蚊の多い季節がやってきました。

日本脳炎ウイルスはブタの体内で増殖し、蚊(コガタアカイエカ)を媒介して人に感染します。

例年、日本脳炎ウイルスを保有するブタが西日本を中心に確認されていますので、**特に西日本地域(中国、四国、九州等)でブタの多い場所や(コガタアカイエカが発生する)水田、沼地の周辺の屋外**では、蚊に刺されないように気をつけましょう。

**日本脳炎ウイルスは、人から人へは感染しません。**



コガタアカイエカ

### 防蚊対策

コガタアカイエカは水田・沼地で発生し、活動範囲(飛行距離)は、8km程度移動したという報告もありますが、概ね2km前後とされています。また、コガタアカイエカの活動は日没後になります。

- 蚊に刺されないように工夫しましょう。(長袖・長ズボンを着用したり、防虫スプレーや防虫薬をこまめに使用するなどの対策をおすすめします。)
- 日本脳炎ワクチンの接種については、お住まいの市区町村にご相談ください。

日本脳炎に関する詳細な情報は厚生労働省のHPをご覧ください。[日本脳炎Q&A](#)で検索できます。また、日本脳炎ワクチンの接種については、お住まいの市区町村にご相談ください。